

「世田谷おもてなしプロジェクト」について

1 「世田谷おもてなしプロジェクト」について

(1) 主旨

区民をはじめ馬術競技の観戦等で区に訪れる方々を、区民や事業者と区が連携し「オール世田谷」でお迎えする取組みや大会終了後も地域の資産となるレガシーを残していく取組みを、大会開催まで限られた時間の中で、より一層具体的に進めるために「世田谷おもてなしプロジェクト」を実施する。

(2) プロジェクトの考え方

- ①「レガシー実現プラン」に基づき、東京2020大会に向け区民が主役となり、オール世田谷で取り組む事業を実施する。
- ②「2020に向けた世田谷区の取組み」のテーマである観光、スポーツ、国際、文化・芸術、環境、福祉、教育等の観点を踏まえ東京2020大会終了後も区民にレガシーを残す。

(3) おもてなしに向けた取組み

- ①東京2020大会に向けて、気運醸成、国際交流、共生社会、区の魅力再発見に資するよう、区、区民、事業者が実施又は連携実施する事業をプロジェクト事業とする。
 - 既存事業
気運醸成イベント、USOPCとの交流事業
アメリカ大使館交流事業、共生社会ホストタウン事業 等
 - 新規事業
区民参加型のパレード、コミュニティライブサイト、クリーンキャンペーン 等
- ②区民、団体、事業者からの提案事業等窓口設置
「レガシー実現プラン」に位置づけた区民や民間からの事業提案等を産業振興公社が受け、区の担当所管課と連携できるよう交流推進担当課と調整を行う。

2 官民連携事業の推進体制について

(1) 実行委員会の設置

官民連携の事業を進めるための情報共有や意見交換を行い、円滑な事業を進める基盤とするため、(仮称)世田谷おもてなし実行委員会(以下「実行委員会」という。)において取り組むための準備を進める。

(2) 構成員

産業団体、町会団体、世田谷区 等

(3) 所掌事項

- ① オール世田谷でプロジェクトを推進するための情報共有と意見交換を行う。
 - ・既存事業の情報共有と進捗状況の確認
 - ・新規事業の実施方針や取組みの方向性についての情報共有と意見交換
 - ・区内活動団体や区民が提案する事業の情報共有と意見交換
- ② オール世田谷でプロジェクトを推進するための事業実施
 - ・実行委員会と区が共催し象徴的な事業を実施
- ③ プロジェクトを実施するための協賛金募集や事業PR・情報発信
 - ・協賛金募集方法、期間等の情報共有と意見交換
 - ・事業PR方法や情報発信についての情報共有と意見交換

(4) 運営経費

- ① 実行委員会運営及び象徴的事業の実施に係る経費は、団体や企業等からの協賛金、世田谷区からの負担金等による。
- ② 区民等からの提案事業窓口については、区からの委託事業とする。

(5) 実行委員会設置期間

令和元年9月から令和3年3月31日

(6) 事務局等

産業振興公社は、実行委員会からの委託により事務局機能を担う。また、事業全体をコーディネートし、東京2020大会終了後も継続した地域活性化に資するレガシーとなるよう区（交流推進担当部）と調整を行う。交流推進担当部は、実行委員会の事務局である産業振興公社と連携し、庁内の調整を担う。

3 必要経費

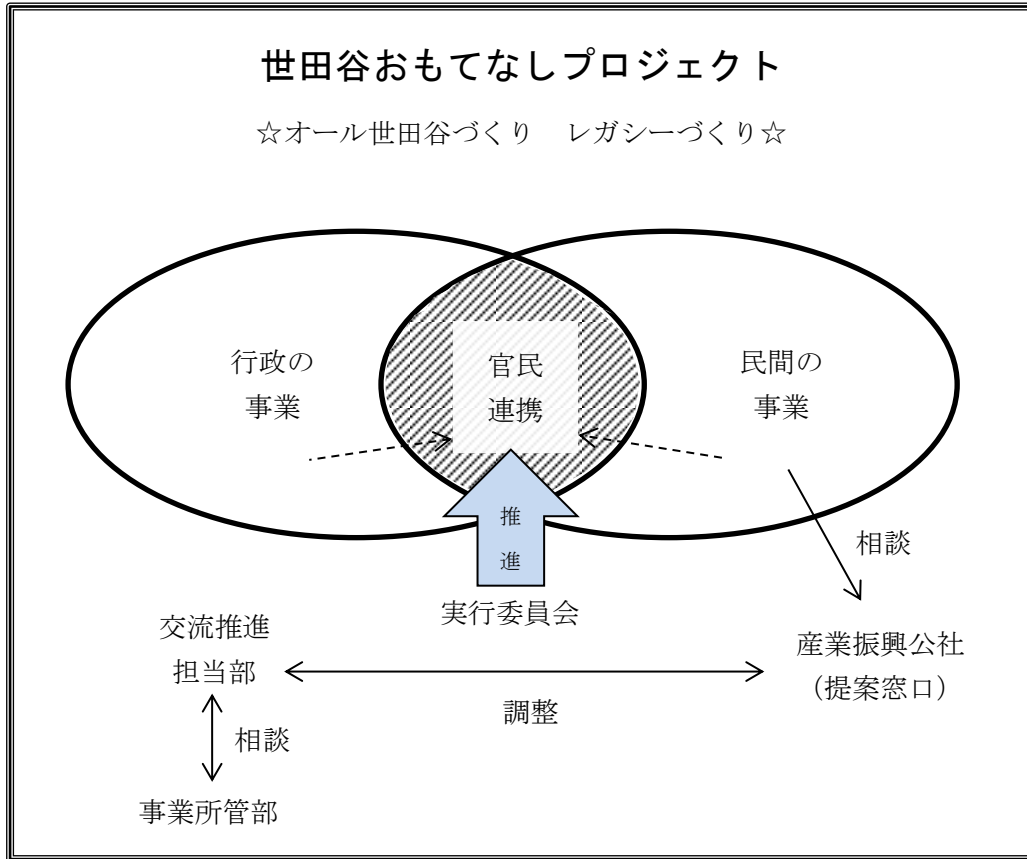
令和元年度 4,000千円（実行委員会運営準備経費）

4 スケジュール

令和元年9月4日	オリンピック・パラリンピック等特別委員会報告
以降	実行委員会設置、活動開始
令和2年度	事業実施

<概念図>

■おもてなしプロジェクトイメージ



■実行委員会イメージ

